Panasonic

取扱説明書

保管用

小型誘導灯用防錆吊具（一般屋内用）

FP61036

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

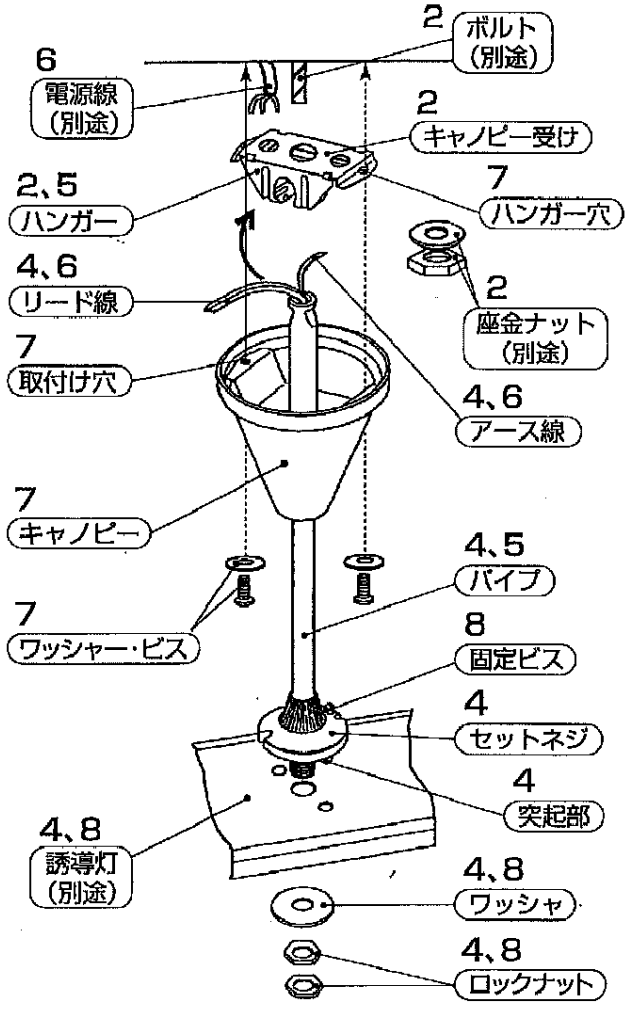
⚠ 警告

●施工は、取付方法にしたがい、確実に行なう。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●吊具を改造しない。落下の原因となります。
●天井取付専用吊具ですので、傾斜天井・壁面への取付けはしない。落下の原因となります。
●適合器具以外使用しない。落下の原因となります。（器具の取扱説明書または、カタログにてお確かめください。）
●開放廊下等、風の強い所では振れ止め処理を行なう。落下の原因となります。

⚠ 注意

●湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下の原因となります。

各部のなまえと取付けかた

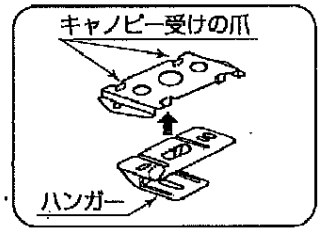


1 取付け前の確認

・許容荷重（1本15kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備があると落下の原因となります。

2 ハンガーの取付け

・キャノピー受けの爪（4カ所）の間にハンガーを合わせる。
・ハンガー・キャノピー受けとボルト（W3／8またはM10）にて天井に確実に取付け、両サイドの長穴にビスにて吊具を回り止めをする。
不備があると落下の原因となります。



3 リード線を接続する

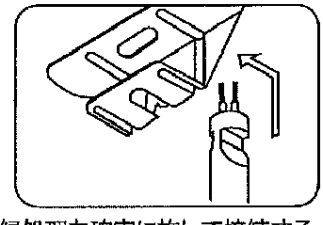
・同梱のリード線・アース線を誘導灯の口出線に接続し、絶縁処理を確実に施してください。
（詳しくは、器具側の取扱説明書をご覧ください。）
・リード線を誘導灯のパイプ取付部付近の電源穴から引き出す。
（誘導灯の電源穴にはブッシングをはめてください。）
接続が不完全な場合は、火災の原因となります。

4 誘導灯の取付け

・パイプにセットネジをねじ込む。
・セットネジ底面部の突起部を誘導灯の穴に合わせ、座金・ロックナットにて誘導灯に仮止めする。
・パイプにリード線・アース線を通す。
取付けが不完全な場合は、落下の原因となります。

5 パイプの取付け

・パイプを持って誘導灯を持ち上げ、ハンガーに確実に引っ掛ける。
取付けが不完全な場合は、落下の原因となります。



6 電源線の接続

・アース線および電源線とリード線の絶縁処理を確実に施して接続する。
接続が不完全な場合は、火災の原因となります。

7 キャノピーの固定

・ストップリングを押し上げ、キャノピーの取付け穴とハンガーの穴を合わせ同梱のビス・ワッシャで締め付ける。

8 誘導灯の方向合わせ

・誘導灯を希望の方向に合わせ固定ビスを締め付けた後、ロックナットにて誘導灯を確実に締め付ける。
取付けが不完全な場合は、落下の原因となります。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●吊具を改造しない。落下の原因となります。

⚠ 注意

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
●3～5年に1回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ ⚠ 注意（必ず電源を切って行なってください。感電の原因となります。）

・吊具の清掃について……
・汚れを落す場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
・シンナーやベンジンでふかないでください。変色・変質の原因となります。

パナソニック電工株式会社　施設・屋外照明事業部　〒571-8686 大阪府門真市門真1048

FT0305-031008